

令和7年度 嘉穂小学校 学校評価報告書

【学校の教育目標】 確かな学力を身につけ、美しい心を持ち、 活力ある子どもの育成	(本年度の重点目標) ◎「〇〇したい」という意欲を持ち、解決方法などを見出したり、試したりしながら考え、粘り強く取り組む児童の育成 ◎感じたことや考えたことを伝え、寄り添う児童の育成
---	--

4：できた (あてはまる) 3：だいたいできた (だいたいあてはまる) 2：あまりできなかった (あまりあてはまらない) 1：できなかった (あてはまらない)

領域	項目	評価指標・自己評価	教職員	児童	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
確かな学力を身につけた子どもの育成	自ら学ぶ子ども	【自分の考えを適切に表現する】 ・先生や友達の話をきちんと聞くことができる。 ・自分の考えや感じたことを進んで書いたり発表したりしている。 ○「校内研究のグランドデザイン」を研究主任が作成し、共通理解・共通実践を図った。	2.87 3.03	3.25 3.07	○先生方の日々の授業づくりの成果で、子どもたちの学力が上がっているようで、素晴らしいです。どのクラスも雰囲気良く、落ち着いて学習出来ていて、聞く力や発言力も育っているように感じました。	◇学習中の交流活動を充実させるとともに、学校行事や委員会、クラブ活動などの特別活動、校外学習などで交流の場面や表現活動を仕組み、発表の場を増やしていく。	
		【読書活動の推進】 ・図書館を進んで利用したり、本を読んだりしている。(低：60冊、中：50冊、高：40冊) ○図書委員会による秋の読書祭りのイベントや読み聞かせなどを行った。	2.93	2.58	○図書委員会による活動を活発に行っていることは、素晴らしいことだと思います。気になることは、児童の評価が先生よりも低いことが気になります。	◇子ども達が本を身近に感じられるような環境づくりに努める。(ブックトーク、読み聞かせ等)また、主体的に取り組めるようなイベントを図書委員会の子どものもとにも考え、本に興味を持ってもらえるような工夫をする。	
		【家庭学習の習慣化】 ・毎日、宿題や自学をしている。(10分×学年+10分)以上 ○各学級での指導の徹底とともに、学年通信等を通して保護者に対して家庭学習の啓発を行った。12月時点で89.3%、土日の家庭学習時間ゼロは、25.9%であった。	3.21	3.58	○子どもたちは、宿題が終わればそれまでで、土日の学習は難しいと感じます。自学の習慣が大事だと思います。	◇土日の宿題の内容・量の工夫を図るとともに、カスタによる家庭学習等に取り組ませることで、子ども達の意欲向上を図る。 ◇家庭への啓発「うちどく」等を通して、家庭との連携を図り、週末読書を推進する。	
		【主体的に学ぶ児童の育成】 ・課題をもち解決方法を見出したり試したりしながら取り組もうとしている。 ○今年度から、全職員で子どもの思考を大切に「主体的に課題解決に取り組む児童を育てる学習指導法」の研究に取り組んだ。	3.24	2.93	○自らの発表、友達同士で話し合っ、お互いの意見を尊重しあう所などがみられていいと思いました。	◇進んで学び、考え・思いをつくり、表現する力を育む授業づくりを推進し、主体的に課題解決に取り組む児童の育成を目指す。	
		総合所見 ○子どもの主体性や表現力を高めるための授業づくりと活動の場づくり等、学校全体で組織的に取り組んでいくとともに、お互いの良さを認め合い、学び合っていく雰囲気(環境)づくりに努める。					
		【良好な人間関係づくり(不登校防止)】 ・友達と仲良くすごし、学校生活を楽しむ。 ・友達に共感したり気持ちを受け止めたりしながら、関わることができる。 ○毎月「学校生活アンケート」を実施し、高学年に対しては、個別に聞き取りを行い、問題が発覚した場合は、複数体制で聞き取りを行い、問題解決の対策を講じた。					
美しい心を持つ子どもの育成	思いやりのある子ども	【言語環境づくり】 ・ふわふわ言葉を使って、友達を大切にしている。 ○11月の人権学習に向け、友達のいいところやすごいところ、ふわふわ言葉を見つける活動を全校で取り組み、校内に掲示した。	2.79	3.43	○コミュニケーション能力の構築が苦手な子どもが数名いるように思われます。自分の思いや気持ちをもう少し上手に表現し、伝えるスキルトレーニングが必要に思います。	◇丁寧な言葉遣いや優しい言葉があふれる言語環境づくりに子ども達と共に取り組んでいく。	
		【挨拶の励行】 ・自分から進んで先生や友達、地域の人に挨拶をしている。 ○児童による生活委員会の挨拶運動取組後、給食時間に挨拶名人を紹介するなどの称賛活動を行った。	2.68	3.21	○登下校で送迎やバスが多く、地域の方とあいさつの場が少なくなっているため、私も意識して声をかけていきます。	◇校内だけでなく、地域の人にも挨拶が進んで出来るよう、地域との関わりを増やしていく活動を工夫する。	
		総合所見 ○日頃から児童一人一人の様子を丁寧に見取り、保護者・地域・関係機関とも連携しながら、きめ細かく取り組みを進めていく。また、嘉穂中学校・牛隈小学校と連携し、中学校区としての9ヶ年の取組を協議・実施していく。					
		【体力の向上】 ・学校を休まないように気をつけている。 ・外で元気に遊ぶことができています。 定期的なコーディネーショントレーニングの実施 体力アップシート：年間100日以上運動 ○毎月25日の「にこにこの日」は、全校一斉に取り組むトレーニングタイムや、持久走月間には、中休みに自主的に走る時間を設定し、取り組んだ。					
活力ある子どもの育成	たくましい子ども	【基本的生活習慣の定着】 ・「早寝・早起き・少メディア・あいさつ」ができる。 ○2・3学期始めに、保護者と連携して「早寝・早起き・少メディア・あいさつ」の取組を実施した。	2.69	3.12	○「少メディア」の日を設定する中で、家族と過ごす時間を見直して、会話が増えるといいと思います。	◇PTAの育成委員会と連携して、今後も「早寝・早起き・少メディア・挨拶」の取組を推進していく。	
		【規範意識の育成】 ・ルールを守って、学校生活を送る。 ○「学校(嘉穂小)のきまり」を各教室に提示し、校内放送等で日常的な意識化を図り、全職員で統一した指導を行った。	3.03	3.37	○ルールを守ること、みんなが楽しく過ごせる経験の大切さを意識させてほしいです。	◇全職員で共通認識を図り、統一した指導を行っていくとともに、家庭とも連携した取組を進める。	
		【清掃活動】 ・掃除を自分から進んで行っている。 ○学年トイレ掃除の取組では、6年生がリーダーとなり下級生に掃除の仕方を教える取組を行った。	3.09	3.38	○縦割り掃除の中で、異学年のかかわりを持つことは素晴らしいです。きれいにすることが気持ちいいと体感し、心も整理されることを知ってほしいです。	◇清掃活動に主体的に取り組むことができるように、振り返り活動を継続していく。	
		【鍛ほめ福岡メソッドの取組】 ・どんなことでもあきらめず、最後までやり遂げる。非認知能力(やり抜く力)の向上 ○体力テスト、なわとび、持久走(体育委員会提案)等で学習カードを活用し目標の実現に向けて向上心を高めながら取り組んだ。体育委員会主催の取組では、ドッチビーなど昼休みに児童が楽しく活動に参加することができる企画を実施した。	3.00	3.47	○子どもたちの意識は高いと感じられます。これからも頑張ってもらいたいです。 ○今後も児童の体力向上に向けて取り組んでほしいです。	◇子ども達が「自分の目標の実現に向けて、粘り強く取り組む」ことができるよう、意図的・計画的な称賛の場を設け、意識の向上を図る。	
		総合所見 ○子どもたちの心と体の健やかな成長のため、家庭との連携を強めながら、協働で基本的生活習慣の定着を目指し、取組を進めていく。また、PTAと連携し、メディアに関する研修を子どもと保護者で行っていく。					
		【地域に愛着をもつ児童の育成】 ・嘉穂や嘉麻市のことを楽しく学んでいる。 ・嘉穂や嘉麻市(地域)である行事について話したり参加したりしている。ふるさと学習の充実とコミュニティ・スクールの活用 ○学校と地域(保護者・地域住民等)が目標を共有し一体となって地域の子どもの成長を育てていくコミュニティ・スクールを進め、全学年で地域の「ひと・もの・こと」を取り入れた学習活動(ふるさと学習)を実践した。					
郷土愛	ふるさとを愛する子ども	総合所見 ○嘉麻市共通地域教材を活用し、地域の「ひと・もの・こと」を計画的に取り入れ、コミュニティ・スクールを通して、大人と子どもが関わり合い、学校が地域コミュニティの核となり、共に成長できる教育に努める。					
		【ふるさと学習】 ・「ふるさと学習」で、少しでも自分の地域のことを知り、好きになってくれたらと願います。地域の一人として、子どもたちに接することで元気をもらい、未来に期待します。 ○地域の方との交流が多い嘉穂です。地元を好きになって、町の盛り上げにつながればいいなと思います。コミュニティ・スクール活動を活かせるよう、私たちが協力して頑張ります。	3.13 2.7	3.48 3.70	◇地域の「ひと・もの・こと」を見直し、新たな人材を発掘していくとともに、コミュニティ・スクールの活用を充実させる。 ◇学校と地域(保護者・地域住民等)が目標を共有し、一体となって地域の子どもの成長を育てていく「地域とともにある学校づくり」を進める。		